

議長／おはようございます。

前日に引き続き、本日の会議を開きます。

市長から提出されました第74号議案を追加上程いたします。

日程に基づき、議事を進めます。

日程第1.第54号議案 武雄市教育委員会の委員の定数に関する条例を議題といたします。

第54号議案に対する質疑を開始いたします。

豊村議員より、質疑の通告がっておりますので発言を許可いたします。

1番 豊村議員

豊村議員／おはようございます。

教育委員の公募についてですがその公募要件、それについてお尋ねをいたします。

以後検討があるでしょうか、それについてお願いします。

議長／樋渡市長

樋渡市長／おはようございます。

お答え申し上げます。

いろんな場でこの議会でも、女性のみの保護者ということをお願いしておりましたが、与党会派等の勉強会で、それでいかなものかというアドバイス、ご意見を賜りましたので、これを踏まえて、私どものほうでもう一度調整をいたしまして、今のところこのように考えております。

ちょっと詳しくなりますけれども、お聞きいただければと思います。

現在就任いただいている5名の方については、交代も任期の変更もありません。

増員となる5人について、公募をして新たに任命をします。

全員公募ということになります。

法律では保護者委員をつけることが義務づけられておりますが、現在5人の教育委員中、保護者委員は1名で、しかも女性はその方のみであります。

前田委員でございます。

これからの協議改革を進めていく上では、保護者の声、特に女性の声を広く求めるべきとの教育委員会からの要請もあわせてございます。

社会的要請もあります。

その中で先ほど申しあげたように、与党会派の勉強会等を真摯に踏まえて、募集先行にあたっては、できるだけ女性の保護者等を中心に考えたいとこのように考えており、より多くの前向きな意識のある方に入ってきていただくと。

そして私どものほうで、これは教育委員会が中心になって選考になりますけれども、そこで考えていきたいと、このように考えております。

いずれにしても、できるだけ女性の保護者等を中心に考えていきたいと、従って男性を排除するわけではない。

もう一つ申し上げれば、一人親の男性の世帯もありますので、女性だけとするとそこを排除することになりますので、そこはちょっといかなものかというご指摘を勉強会からいただいておりますので、それを踏まえていることについても合わせてご理解を賜ればありがたい、このように考えております。

議長／16番 宮本議員

宮本議員／先ほどの質問であらかたのことはわかったんですけども、今度、一人親世帯というのを私情報をちょっと知らなかったんですけども、子育て世代とか地域の方みたいな直接教育関係から来られるということで。

それが今5人ある部分を含めた10名の中で、半数を占める形になっていくのか、それとも今回募集されるなかでそれを重視していくのかということを一ポイント。

もう1つは、その公募が少ないときにはどういうふうになるか、ということについてをお答え願います。

議長／樋渡市長

樋渡市長／先ほど、豊村議員さんの答弁でお答えしたつもりでいるんですが、ようするに今回の5名の現行の委員については交代がないということでもありますので、プラス5人は、いずれにしても保護者。

女性を通ずる保護者等と申し上げています。

したがって、今前田さんがもう保護者でありますので、そういう意味で私の希望とすれば、これは再三議会でも申し上げておりますとおり、保護者の方が過半数を占めるということについては、ぶれておりません。

先ほどもし、公募が少なかったということに関していうと、これ、かなりまた、きょう佐賀新聞を中心としてまた報道されることになりますので、公募が足りないということは全然想定していません。

いずれにしても、女性を中心とする皆さんたちが教育委員会というど真ん中に入っていて、それで自分たちの責任ある考えをおっしゃっていただく機会ということでもありますので、そういう意味で公募割れということは現在のところ想定しておりません。

現に、何回かもう報道もされておりますけれども、早く公募が始まらないのかなというお声もありますので、心配ご無用であります。

議長／16番 宮本議員

宮本議員／一応、この今回はですね、この改革の議案は10人増員という教育委員会改革の一方の人数というふうに思うんですけども、教育委員会改革はその回数やその程度で、いじめとかですね、把握できるのかという内容の改革についても言われたと思うんですけども、これは教育委員会全体の改革の人数と内容ということで、その内容のほうもこう改革していこうと考えておられるのかちょっとお聞きします。

議長／樋渡市長

樋渡市長／これは条例案にはなんの関係ありませんので、ここで答える筋はございません。

議長／他に質疑ございませんか。

質疑をとどめます。

本案は、総務文教常任委員会に付託をいたします。

日程第2．第55号議案 武雄市特別職の職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例及び武雄市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例を議題といたします。

第55号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

本案は、福祉常任委員会に付託をいたします。

日程第3．第56号議案 武雄市給湯条例の一部を改正する条例を議題といたします。

第56号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

本案は、産業経済常任委員会に付託をいたします。

日程第4．第57号議案 武雄市営住宅設置条例及び武雄市特定公共賃貸住宅設置条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

第57号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

本案は、建設常任委員会に付託をいたします。

日程第5．第58号議案 武雄市水道事業給水条例の一部を改正する条例を議題といたします。

第58号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

第58号議案は、建設常任委員会に付託をいたします。

日程第6．第59号議案 官民一体型学校の創設についてを議題といたします。

第59号議案に対する質疑を開始いたします。

16番 宮本議員

宮本議員／まだちょっと、関係ないといわれるかもしれませんが。

一体型をはなまる学習会と契約すると。

そして、内容は下に書いてあるように、これにない部分はずっと話し合いで決定するということですが、在り方によっては放課後児童クラブとかそういうところとか青空教室とかとなってきた、各学校が入ってきた場合、その委託する内容が大きくなる可能性があると思いますが、今長野県で契約される金額的なものはどれくらいになるか、答えられるなら答えていただきたいと思います。

議長／樋渡市長

樋渡市長／この件も、今回の議案については全く関係ありませんので、それについてはここで答える術がありませんので、ぜひ御理解をいただきたいと思います。

もう少し的を射た質問をしていただきたいと、そのように思います。

議長／ほかに質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

本案は、総務文教常任委員会に付託をいたします。

日程第7. 第60号議案 平成25年度武雄市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてを議題といたします。

第60号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

議長／16番 宮本議員

宮本議員／剰余金を、減債積立にされると思うんですけど、減価償却費は落とさない年はないと思います。

ずっと落としていると。

そういうことで、貯めているはずですよ。

時々貯められないところ、企業であればそういうのに備えてつちゅうことはあるでしょうけども。

貯めているのに減災積み立てに持っていくと。

その減災積立の目標金額は、どうなっていますか。

議長／筒井上下水道部長

筒井上下水道部長／現在、約28億円の企業債償還残高を抱えています。

そのため、今回も減債積立で処分をいたしているところです。

そういうことで、企業債償還残高がある限りは、剰余金が出たことであれば、***というふうに考えております。

議長／16番 宮本議員

宮本議員／減価償却費…借金が20億あると思いますが、減価償却費の残がそれ以上か同等あれば、そう貯めないで利益積立金にして、市民に還元する方法もあるんじゃないですかね。

議長／筒井上下水道部長

筒井上下水道部長／お答えします。

損益の中には、減価償却も含めて計算をいたしますので、今回の利益剰余金1億2000万については、減価償却費も含めた金額ですので、そこらへん、ご理解をいただきたいと思

ます。

議長／ほかに質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

本案は、建設常任委員会に付託をいたします。

日程第 8. 第 61 号議案 平成 26 年度武雄市一般会計補正予算(第 2 回)についてを議題といたします。

第 61 号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

本案は、所管の常任委員会に分割付託をいたします。

なお、付託区分については、お手元に配付の区分表のとおりでございます。

日程第 9. 第 62 号議案 平成 25 年度武雄市水道事業会計決算認定について及び日程第 10 第 63 号議案 平成 25 年度武雄市工業用水道事業会計決算認定についての以上 2 議案を一括議題といたします。

第 62 号及び第 63 号議案に対する一括質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

お諮りいたします。

第 62 号議案及び第 63 号議案は、11 人の委員をもって構成する特別会計等決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査に付したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

>異議なし

ご異議なしと認めます。

よって、第 62 号議案及び第 63 号議案は、特別会計等決算審査特別委員会に付託の上、閉

会中の継続審査に付することに決しました。

次に、お諮りいたします。

ただいま設置されました、特別会計等決算審査特別委員会の特別委員の選任につきましては、武雄市議会委員会条例第8条第1項の規定により、

1番 豊村議員、4番 山口等議員、5番 浦議員、7番 池田議員、8番 石丸議員、14番 山崎議員、15番 末藤議員、16番 宮本議員、17番 吉原議員、21番 松尾初秋議員、23番 江原議員の以上11名を、特別委員に指名いたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

>異議なし

ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました11名を、特別会計等決算審査特別委員会委員に選任することに決しました。

日程第11. 第64号議案 平成25年度武雄市一般会計決算認定についてから、日程第20. 第73号議案 平成25年度武雄市新工業団地整備事業特別会計決算認定についてまでの、以上10議案を一括議題といたします。

提出者からの補足説明を求めます。

前田会計管理者

前田会計管理者／おはようございます。

第64号議案から第73号議案までの決算認定10議案について、ご説明申し上げます。

決算書は、46ページまでとなっておりますが、会計別の歳入歳出決算総括表で主な点をご説明します。

それでは、決算書の1と2ページをご覧ください。

最初に一般会計であります。歳入欄では、補正額に対する収入額の割合、収入率は約95.1%となっております。

その欠損額の内訳は、市税のほか、保育料、住宅使用料を滞納繰越金です。

収入未済額には、市税のほか、翌年で繰越になった事業により、国県支出金、自宅利用収入などの特定財源が含まれています。

次に、歳出につきましては、予算減額に対する支出の割合、予算の執行率は92.9%となっております。

翌年の繰越額には、明許繰越、継続費逓次繰越などの事業費が含まれています。

続きまして、国民健康保険特別会計と後期高齢者医療特別会計では、2ページ右端の歳入歳出差引残額にありますように歳入不足が生じたので、地方自治法施行令第166条の2の規定に基づき、平成26年度歳入からの繰上充用で対応しております。

続きまして、下水道事業特別会計の3会計について、ご説明申し上げます。

歳入であります。農業集落排水事業が使用量と分担金に、公共下水道事業では、使用量にそれぞれ不納欠損額があります。

収納率は、農業集落排水事業、公共下水道事業では、ともに99.2%となっており、戸別浄化槽事業は99.8%です。

予算の執行率は、農業集落排水事業が99.3%、公共下水道事業が95.8%、戸別浄化槽事業は97.7%でございます。

続きまして、土地区画整理事業特別会計ですが、翌年度への繰り越しがあるため、歳入では国庫支出金が収入未済額となっており、それにともない、予算の執行率は84.0%でございます。

続きまして、競輪事業特別会計では、収納率はほぼ100%、収入未済額は、売店使用料であり、6月16日に収納されております。

なお、予算の執行率は95.1%でございます。

続きまして、給湯事業特別会計ですが、歳入の主なものは給湯使用料であり、収入未済額はありません。予算の執行率は87.6%です。

続きまして、新工業団地整備事業特別会計ですが、収入未済額は、全額県支出金であり、事業費が翌年繰越となったものです。

支出済み額は、公債費の地方債の償還利子分です。

なお、国民健康保険特別会計と後期高齢者医療特別会計のほかは、決算剰余金が生じております。

附属資料の345ページ以降に、実質収支に関する調書、概算に関する調書などが掲載されています。

また、主要施策の精査、および予算執行の実績に関する調書については、別冊にて提出しているので各会計の事項別明細書とあわせてご参照いただきたいと思います。

以上で、昭和25年度の一般会計と特別会計の決算についての概要説明を終わります。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

あ、間違えました。

平成ですね。

議長／これより、質疑を開始いたします。

質疑は、区分して行います。

まず、第64号議案 平成25年度武雄市一般会計決算認定に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

次に、第 65 号議案から第 73 号議案までの以上 9 議案に対する一括質疑を開始いたします。

質疑をとどめます。

お諮りいたします。

第 64 号議案については、11 人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査に付したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

>異議なし

ご異議なしと認めます。

よって、第 64 号議案については、一般会計決算審査特別委員会に付託の上、閉会中の継続審査に付することに決しました。

次に、お諮りいたします。

ただいま設置されました、一般会計決算審査特別委員会の特別委員の選任につきましては、武雄市議会委員会条例第 8 条第 1 項の規定により、2 番 猪村議員、3 番 朝長議員、6 番 松尾陽輔議員、9 番 石橋議員、10 番 上田議員、11 番 山口裕子議員、13 番 吉川議員、18 番 山口昌宏議員、19 番 川原議員、20 番 牟田議員、24 番 谷口議員の以上 11 名を、特別委員に指名いたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

>異議なし

ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました 11 名を、一般会計決算審査特別委員会委員に選任することに決しました。

お諮りいたします。

第 65 号議案から第 73 号議案までの以上 9 議案については、特別会計等決算審査特別委員会に付託の上、閉会中の継続審査に付したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

>異議なし

ご異議なしと認めます。

よって、以上の 9 議案は、特別会計等決算審査特別委員会に付託の上、閉会中の継続審査に付することに決しました。

ここで、ただいま設置されました一般会計決算審査特別委員会、並びに特別会計等決算審

査特別委員会の正副委員長互選のため、暫時休憩をいたします。

* 休憩中(10:21) *

議長／特別委員会における正副委員長の互選結果の報告を受けましたので、御報告をいたします。

一般会計決算審査特別委員会の委員長に 10 番 上田議員、副委員長に 3 番 朝長議員、特別会計等決算審査特別委員会の委員長に 5 番 浦議員、副委員長に 4 番 山口等議員、以上のとおりでございます。

よろしく願いいたします。

日程第 21. 第 74 号議案 平成 26 年度武雄市一般会計補正予算(第 3 回)についてを議題といたします。

提出者からの補足説明を求めます。

松尾政策部長

松尾政策部長／第 74 号議案、平成 26 年度武雄市一般会計補正予算第 3 回について補足説明します。

議案その 3、一般会計補正予算書の 1 ページをご覧いただきたいと思います。

第一条の歳入歳出予算の補正では、歳入歳出の総額費、2 億 7205 万 3000 円を追加し、補正後の総額を 239 億 9035 万 5000 円とするものです。

歳出の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

予算説明書の(5)ページをご覧ください。

総務費の企画総務費では、庁舎建設にかかる経費として、用地取得のための保障調査費、及び建設のための基本設計費をお願いしています。

8 款土木費の下水道費では、新幹線鉄道工事にとまなう下水道の付け替え工事において、安全対策の追加工事が必要になったため、増額補正をしています。

なお、全額鉄道運輸機構からの受託事業になります。

11 款災害復旧費では、8 月 19 日から 23 日にかけて、災害による被害に対し早急に対応するため所要の経費をお願いしています。

別添で補正予算参考資料を添付していますので、ご参照ください。

以上で補足説明を終わります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／第 74 号議案に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

本案は、所管の常任委員会に分割付託をいたします。

なお、付託区分については、お手元に配付の区分表のとおりでございます。

日程第 22. 報告第 13 号 平成 25 年度武雄市一般会計継続費精算報告書の報告についてを議題といたします。

提出者からの補足説明を求めます。

松尾政策部長

松尾政策部長／報告第 13 号 平成 25 年度武雄市一般会計継続費精算報告について、補足説明を申し上げます。

議案書その 2 の 2 ページをご覧いただきたいと思います。

これにつきましては、市道モチワリセン、ほか 1 路線整備事業、市営和田住宅第 2 期建て替え事業、武雄小学校校舎、給食室改築事業につきましては、平成 24 年度から 25 年度までの 2 カ年の継続費を設定しておりましたが、平成 25 年度をもって、生産報告書のとおり事業が完了したので、地方自治法施工例の規定に基づき報告するものでございます。

以上で補足説明を終わります。

よろしく申し上げます。

議長／報告第 13 号に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

報告第 13 号は、法令に基づき報告されたものでありますので、この程度でとどめたいと思います。

日程第 23. 報告第 14 号 平成 25 年度武雄市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを議題といたします。

提出者からの補足説明を求めます。

松尾政策部長

松尾政策部長／報告第 14 号 平成 25 年度武雄市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について、ご説明を申し上げます。

議案書その 2 の 3 ページをご覧いただきたいと思います。

これは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律規定によりまして、平成 25 年度決算に基づく、健全化判断規律及び資金取得規律についてご報告を申し上げるものです。

4 ページをご覧ください。

第 1 項の平成 25 年度武雄市健全化判断比率ですが、実質、赤字比率、及び、連結、地質、赤字率いずれも赤字額がありませんでしたので、横棒ということで、表示しています。

実質公債費比率は、9.5%、将来負担比率は 8.7%となっています。

表の右側に記載していますが、早期健全化基準の通知をそれぞれクリアしています。

第 2 項の平成 25 年度、武雄市公益業会計資金不足比率ですが、いずれの会計も資金不足はありませんでした。

報告第 14 号の補足説明おわります。

よろしく申し上げます。

議長／報告第 14 号に対する質疑を開始いたします。

質疑ございませんか。

>なし

質疑をとどめます。

報告第 14 号は、法令に基づき報告されたものであります

ので、この程度でとどめたいと思います。

日程第 24. 請願第 1 号 佐賀空港のオスプレイ基地化に反対する意見書を求める請願についてを議題といたします。

紹介議員の趣旨説明を求めます。

23 番 江原議員

江原議員／請願第 1 号 佐賀空港のオスプレイ基地化に反対する意見書を求める請願の紹介人としての趣旨説明を求め、ご報告いたします。

請願文書の、請願書を読み上げて趣旨説明にかえさせていただきます。

佐賀空港のオスプレイ基地化に反対する、意見書を求める請願。

安倍政権は、陸上自衛隊で配置する MV-22 オスプレイを、佐賀空港に 17 機配備する計画を決定した。

その情景になっているのが、佐賀空港を、自衛隊との共有空港にすること。

共有化はオスプレイ配備と佐賀空港、有明海沿岸の軍地化にはかならない。

佐賀県空を欠陥機であるオスプレイが我が物顔で飛び、周辺住民を県民を危機にさらすことは許されません。

佐賀空港の共有化がその第一歩である以上、認めるわけにはいきません。

地方自治法第96条2項に基づいて、県知事への意見書を求めるよう請願します。

請願項目1、佐賀空港へのMV-22 オスプレイの配備を認めないこと。

2、県が締結した佐賀空港建設当時の妨害防止協定を遵守すること。

以上、趣旨説明を申し上げ請願に変えさせていただきます。

議長／請願第1号に対する質疑を開始いたします。

10番 上田議員

上田議員／所管の常任委員会の委員長をしてるので、確認をさせていただきたいと思いますが、先ほど、請願の趣旨を読まれましたが、その5行目くらいにあたるのですが、欠陥機であるオスプレイという表現があります。

その欠陥機というその、言える理由とかそこらへんの、なにをもって、欠陥機であるオスプレイという表現をされているのかを確認をさせていただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

議長／23番 江原議員

江原議員／書かれている通り、欠陥機器であると。

それは、未亡人製造機と言われているように、これまでオスプレイが訓練も含めて、世界の中で事故を起こした。

そのことをもって、まさに欠陥機だにご理解いただきたいと思います。

議長／10番 上田議員

上田議員／その欠陥機、データに基づいての欠陥機という位置づけなのか、今おっしゃったように、例えば報道等に基づいて欠陥機といわれているのか、そのへん、どう認識すればいいですか。

議長／23番 江原議員

江原議員／もともとヘリコプターにはオートローテーションという機能があって、エンジンが停止した段階で、空中から地上に降りていくというオートローテーション機能がついてないといけません。

ところが、オスプレイにはこの機能はついていません。

まさに通常のヘリコプターの概念と全く違う構造になっているかとおもいます。

その点では、いわゆる飛行機とヘリコプターを兼用していると、その設計以上の問題が、

十分に私は含まれていると。
以上です。

議長／10番 上田議員

上田議員／今おっしゃったのは試作機のところではそういう話を、私は伺ったことがあるんですが、今の機体にもそれは付いてないのですか。

議長／23番 江原議員

江原議員／オートローテーション機能というのはオスプレイには付いておりません。

議長／20番 牟田議員

牟田議員／オスプレイは通常 V-22 ですよね。

MV-22 ではなくて。

MV-22 と CV-22 とありますが、その辺の区別がわかってきちんと書いてらっしゃるのか、これが1点。

今、事故率を言われましたが事故率は、昔ハリヤーという垂直ジェット離着機がありますよね。

あれは事故率が 0.06%、ハリヤーは 0.01%。

それに比べて低いですよ。

そういうのも含めて事故率が高いというふうに言われてるのか。

この2点をお伺いしたいと思います。

議長／23番 江原議員

江原議員／MV と CV とおっしゃいましたが、型には確かに牟田議員がおっしゃるようであろうかと思えます。

それは私も理解しています。

と同時に、2点目の事故率に関しましては、私は、事故率では評価する目安になるのかどうか。

私はそれは、基準がそれでいいのかなと思っています。

本来、事故があってはいけないわけです。

まして今現実に沖縄の上空を飛んでいる、米軍と沖縄が約束している、都市、いわゆる町の中を夜 10 時以降は通らない。

しかしそれがあえて通っているわけであります。

もし事故がひとたび起これば、大変な惨状が起ると。

ですから事故率で論議していいのかどうか。

それはいま沖縄の県民の皆さんにとっては、1番の心配のネタではないかと思っておりますので、事故率という比率で、私は一般質問でも取り上げました。

ご存じの通り。

市長が事故率は低いと言われました。

それは、全体の飛行機あるいはヘリコプターの事故の率から計算して、そういう数値が出てくるとは思いますけど、一旦事故が起こると大変なことが起こるんだということを私は申し上げたいと思います。

そして、ご理解いただきたいと思います。

議長／20番 牟田議員

牟田議員／じゃあ、事故率じゃなくて普通の航空も全部***願いますね。

もう1点。

今言われた文章の中に、欠陥機であるオスプレイが我が物顔で飛ぶというのはどういう。

我が物顔というのは、法律を無視して飛ぶ。

でもこういうのはきちっと、航空交通管制として、自衛隊法をきちんと重視しながら飛ぶというのが通常ですが、我が物というのはどういう意味なのか。

恣意的な部分が考えられるので、きちんと航空法、そして自衛隊法、そしてきんとした***をふんでやっていくと思いますがこの表現はどういう意味なのか。

先ほど答弁された、だいたいオスプレイはV-22。

CV-22、MV-22、海兵隊、空軍、自衛隊ごとに分かれてますが、この文章で言えば米軍のかえった分がそのまま来るといことになりませんが、そういうふうに理解して良いのか。

この2点。

議長／23番 江原議員

江原議員／1点目に言われた、我が物顔と言われましたが、日本の航空法で言われている、低空で飛ぶ場合は、ちょっと今資料持ってきてませんが、日本の航空法では低空で飛行することはできないようになっておりますが、もしオスプレイが日本国内で飛んでいるときに、いわゆるその日本の国内法を違反して低空で飛ぶということは、日本の航空法違反だと私は理解しておりますので、そういう形が今、滋賀県の饗庭野演習場でも行われておりましたけども、昨年。

あるいは沖縄で行われておりますけれども、日本の航空法を逸脱して訓練がされていくと

いうことで、そういう表現を使っております。

この国内法の問題につきましては、私が思っているのは、日本政府がどういう形で国内法をクリアしていくのかなという疑問を持っておりますので、その点につきましてはあとで資料に基づいてお示し願いたします。

それと、2点目…。

議長／MV、CV。

江原議員／先ほども質問ありましたように、MV、CVの問題につきましてはあとで資料をもってご説明、ご理解いただければというように思います。

／議長、答弁になってない。

議長／23番 江原議員

江原議員／MV、CV、いわゆる…。

私は、MV-22 オスプレイ佐賀空港が、自衛隊機が導入する機種として掲げていただいております。

／MVですね。

江原議員／はい。

／それが聞きたかった。

議長／ほかに質疑ございませんか。

質疑をとどめます。

本案は、総務文教常任委員会に付託をいたします。

以上で本日の日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

どうもお疲れ様でした。